

## 前回定例会(平成21年3月4日)以降の行政の動き

平成21年4月8日  
新 潟 県

### 1 安全協定に基づく状況確認

- 平成21年3月12日(月例状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

#### <主な確認内容>

- ・ 1～7号機運転保守状況について(2月分)
- ・ 7号機制御棒動作試験時不具合箇所
- ・ 雑固体廃棄物固型化处理装置設置予定現場
- ・ 貝殻回収・分離後の残渣処理現場

- 平成21年3月5日(状況確認) 県、柏崎市、刈羽村

#### <主な確認内容>

1号機原子炉建屋において、点検の準備作業(洗浄剤の小分け作業)中に発生した火災を受け、現場確認を行うとともに、当時の通報連絡や作業の状況等を聞き取りにより確認しました。

### 2 技術委員会の開催

#### [技術委員会]

- 平成21年3月8日(第3回)

#### <議事概要>

##### 【小委員会での論点について】

- ・ 「小委員会の論点に対する保安院の見解は納得できない」との意見に対し、「重大な間違いがあるならば、それを示すべき」「仮説だけで反論するのは専門家の倫理として如何か」との意見があったため、次回、意見の論拠を示して議論することになりました。
- ・ 論点の「塑性変形」は学会で学者が議論すべき類の問題であり、今回生じたかもしれないとされる塑性変形は「原子力施設の安全性確保」という観点からは問題ないとの意見が示されました。
- ・ 安全性に関して、確認ができていない、或いは、知見が不足している場合、更に時間をかけて判断すべきかどうかという総合的な観点からのリスクマネジメントが要求されるのではないかとこの意見が示されました。

##### 【今後の進め方について】

- ・ 今回の議論を踏まえ座長のまとめ(私案)を作成し、次回18日に議論をすることとなりました。

- 平成21年3月18日(第4回)

#### <議事概要>

##### 【小委員会での論点について】

- ・ 立石委員から提出された意見書について、東電、保安院、地震・地質小委の委員から見解が示され、新たな活断層があるとは判断できないとの意見で一致しました。

##### 【論点に対する技術委員会の見解について】

- ・ 座長私案に基づき議論し、一部修正意見は出たが概ね了承されました。
- ・ 今回の議論を踏まえ委員間でメールにより調整を行い、座長私案を修正して、技術員会の見解とすることとなりました。

## ○ その他（技術委員会の見解のとりまとめの状況）

- 3月19日：第4回技術委員会の議論を踏まえ、座長が見解(案) [3月19日版] を作成し、各委員に意見照会
- 3月21日～23日：見解(案) [3月19日版] に対して4名の委員が意見を提出
- 3月23日：委員の意見を踏まえ、座長が見解(案) [3月23日版] を作成し、各委員に意見照会
- 3月25日：見解(案) [3月23日版] に対して2名の委員が意見を提出
- 3月27日：立石委員が声明を提出
- 3月28日：座長が立石委員から提出された意見に対する回答を發出  
：委員の意見及び立石委員の声明を踏まえ、座長が見解(案) [3月28日版] を作成し、各委員に意見照会
- 3月28日～4月1日：見解(案) [3月28日版] に対して全委員が意見を提出
- 4月7日：座長が「技術委員会の見解」を知事に報告

### [設備健全性、耐震安全性に関する小委員会]

#### ○ 平成21年3月10日（第16回）

##### <議事概要>

##### 【6号機の建物・構築物の健全性評価について】

- ・ 東京電力と保安院から、6号機の建物・構築物の健全性評価では問題がなかったとの説明がありました。
- ・ 壁に入った微小なひびの補修方法等について質問があったが、結果については了承されました。

##### 【委員からの質問と回答】

- ・ 東京電力から基準地震動の策定方法について説明があり、異論は出ませんでした。
- ・ 7号機の耐震安全性評価における解析では、基準値に近い値が計算された箇所があったが、解析方法や基準値には余裕が見込まれており、安全上の問題はないと東京電力は説明しました。

#### ○ 平成21年3月27日（第17回）

##### <議事概要>

##### 【委員からの質問と回答】

- ・ 7号機の原子炉冷却材再循環ポンプについて、基準地震動に対する耐震安全性が確保されていることは了解されたが、東京電力が自主的に設定した耐震強化工事用地震動(1000ガル)に対する補強の必要性については次回継続して議論することになりました。

##### 【6号機の耐震安全性評価について】

- ・ 東京電力から、6号機の建屋、構築物、重要な設備の耐震安全性評価の結果に問題はなかったとの説明があり、議論は次回行うこととしました。

※ 今後の予定	「技術委員会」	未定
	「設備健全性、耐震安全性に関する小委員会」	4月9日
	「地震、地質・地盤に関する小委員会」	未定

## 3 その他

### <三者会談（知事、柏崎市長、刈羽村長）>

#### ○ 平成21年3月11日

- 5日に1号機原子炉建屋で火災が発生したことを重く受け止め、再発防止に向けた防

火体制改善の妥当性が確認されるまで、運転再開に向けた議論はしないこととしました。

#### <知事コメント>

○ 平成21年3月6日

##### 柏崎市消防からの「火気作業、危険物取扱作業の見直しと改善計画提出」命令

本日午後、柏崎市消防から、東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所に対して、消防法に基づく「火気作業、危険物取り扱い作業の見直しと改善計画の提出」について命令が出されました。

県としては、昨日、柏崎市長に対し、こうした憂慮すべき事態を重く受け止め、強く指導するよう勧告したところであり、今後提出される改善計画の審査に当たって、柏崎消防には、東京電力(株)のこれまでの取り組みも含めて、防火体制をしっかりと確認していただきたいと考えております。

○ 平成21年3月27日

##### 「火気作業、危険物取扱作業の見直しと改善計画提出」命令の解除

本日、柏崎市消防本部が発出していた「火気作業、危険物取扱作業の見直しと改善計画提出」命令の解除がされました。

県としては、この後、勧告に基づき柏崎市から報告いただく事業者指導の内容を踏まえて、適切に対応して参りたいと考えております。

○ 平成21年3月18日

##### 志賀原子力発電所の運転差し止め訴訟判決

本日、名古屋高等裁判所金沢支部における志賀原子力発電所2号機の運転差し止め訴訟控訴審で、一審判決を取り消す判決が示されました。判決の詳細について承知しておりませんので、コメントは差し控えたいと思います。

なお、柏崎刈羽原子力発電所は、耐震安全性について技術委員会で議論をしている段階であり、今回の判決が本県に影響することは特段ないと考えています。

県としては、県民の皆様の安全と安心を第一に対応してまいります。

#### <東京電力への申し入れ>

○ 平成21年3月5日

##### 柏崎刈羽原子力発電所における安全管理の再徹底について

貴社に対しては、昨年12月2日に安全管理の徹底について申し入れたところですが、本日、1号機原子炉建屋で火災が発生し、負傷者がでました。

再三にわたり安全管理の徹底を要請しているにもかかわらず、火災が発生したことは、地域住民の安心と信頼を損なうものであり、誠に遺憾であります。

については、速やかな原因の究明と再発防止対策について、あらためて徹底するよう強く申し入れます。

#### <県民説明会の開催について>

「地震・地質」と「設備・耐震」の小委員会で整理した論点について、県民の皆様に理解を深めていただくための説明会を開催しました。

参加者は合計355名で、アンケートにご協力いただいた227名の内、説明内容について「十分理解できた」「概ね理解できた」が161名を占めました。

##### [日程・会場・参加者]

平成21年3月4日(水)	下越地区(新潟市)	新潟県自治会館	141名
5日(木)	中越地区(柏崎市)	柏崎商工会議所	123名
6日(金)	上越地区(上越市)	上越市市民プラザ	91名

## <報道発表>

○ 平成21年~~4~~4月~~5~~2日

### 7号機タービン建屋の耐震評価データの一部誤りについて

7号機タービン建屋の耐震安全性の解析において、一部の壁の強度が計算から漏れていたことが判明したとの報告がありました。

東京電力は、今回の誤りは、7号機タービン建屋の強度を本来の強度より低く計算したもので、耐震安全性の判断に影響を与えるものではないと考えられるとしていますが、県としては、東京電力に対し、速やかに原因を究明し、他にも同様な誤りがないか徹底的に調査し、報告するよう求めました。

○ 平成21年4月1日

### 新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）の修正素案についての意見募集

現行の新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）において、原子力災害と他の大規模災害等が複合的に発生した場合や中越沖地震のように原子力災害に至らない事故等が発生した場合の対応に課題があったことから、これら2つのポイントを柱として現計画の見直しを行うこととしました。

このたび、新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）修正素案をとりまとめましたので、広く県民の皆様のご意見を募集します。

## <広報>

○ 平成21年3月24日～3月25日

3月18日の技術委員会で議論した「技術委員会の見解（案）」を新聞に掲載しました。